

農業・農村を支える基盤整備事業の推進

政策提言先 農林水産省

政策提言の要旨

国内外の競合産地に打ち勝つことができる持続可能な力強い農業を実現するためには、農業の体質強化を図り「農を強くする」とともに、災害に強い農村社会を形成し「農村を守る」ことが必要です。

農業農村整備事業は、こうした政策全体を支える根幹であり、基盤整備や防災・減災対策を切れ目なく実施し早期効果を発現するために、令和4年度当初予算において十分な予算を確保するよう提言します。

【政策提言の具体的内容】

1 農業競争力を強化するための基盤整備予算の確保

担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換等により農業の体質を強化し、地域で暮らし稼げる農業を展開するために、農業全体を下支えする基盤整備の予算を十分に確保することを提言します。

2 農村地域の防災・減災対策をさらに加速化するための予算の確保

南海トラフ地震対策や豪雨対策としてのため池改修など、農村地域の防災・減災対策を着実に推進するために、「農村地域防災減災事業」の予算を十分に確保することを提言します。

【政策提言の理由】

- 農業を巡る環境は、生産コストの高止まりによる農業所得の減少、担い手不足の深刻化、高齢化の進行など、依然として厳しい状況が続いています。

このような中、国内外との産地間競争に打ち勝つことができる農業を展開し、「農を強くする」ためには、地形条件や地域のニーズに応じた基盤整備により優良農地を確保するとともに、経営体（担い手）の育成を強化し、生産の増、所得の向上、担い手の増の「好循環」を実現し、農業の「拡大再生産」を図ることが必要です。

- また、ため池は農業用水を確保する貴重な水源である一方で、南海トラフ地震や集中豪雨等の発生により、決壊すれば下流域の人家や公共施設等に被害を及ぼす恐れがある施設でもあり、安心して暮らし、安定した農業生産を持続していくためには、ため池の地震対策や豪雨対策を着実に推進し、「農村を守る」ことが必要です。

- 農業農村整備事業は、こうした政策全体を支える根幹であり、令和2年度3次補正に計上された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の初年度分と令和3年度の当初予算を合わせて、十分な予算を確保していただき、大変感謝しております。

引き続き、基盤整備や防災・減災対策を切れ目なく実施していくために、令和4年度当初予算において十分かつ安定的な予算の確保が必要です。

【高知県担当課】農業振興部 農業基盤課

1. 農を強くする（地域で暮らし稼げる農業の実現）

【農業全体を下支えする基盤整備の推進】

本県での取組状況

現状

ほ場整備率（10a区画以上）49.4%（R元年度）
一定規模かつ合意形成が図られた農地において、ほ場整備を実施してきたが、中山間地が多い本県では全水田面積の半分に満たない状況
参考（30a区画以上）高知県：32.8%（H30年3月）
全国：65.9%

担い手への農地集積率：32.1%（R元年度）
農地中間管理事業により一定進んだが、目標（58%）には達していない状況。
参考 全国：57.1%



土地条件が悪い農地は担い手が借りてくれない
担い手の農地集積が進まない

課題

産業振興計画を進めてきたなかで見えてきた課題

新たな企業誘致や既存農家の規模拡大、高収益作物への転換
優良農地の確保

集落営農の推進
農作業の効率化・省力化

農地の確保に不安を抱える就農希望者が多い
新規就農者用農地の確保
担い手への農地集積の加速化

担い手のニーズにあった農地の確保
基盤整備により優良農地を生み出すことが必要

高知県産業振興計画
農業分野の施策の展開～地域で暮らし稼げる農業～

農業産出額等 現状（H30）：1,177億円 4年後（R5）：1,221億円
10年後（R11）：1,285億円

柱1 生産力の向上と高付加価値化による産地の強化	柱2 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築
柱4 多様な担い手の確保・育成	柱3 流通・販売の支援強化

第4期より New
農業全体を下支えする基盤整備の推進
担い手のニーズに応じたほ場整備を推進し優良農地を確保

具体的な取組状況

県営事業によるほ場整備の推進

優良農地を生み出すほ場整備事業地区の掘り起こし
・市町村等への啓発活動を実施
・県から積極的に候補地を提案 候補地58地区をリストアップ
事業化に向けた支援の強化
プロジェクトチームを立ち上げて計画策定及び合意形成を支援
担い手の誘致に必要な施設園芸農地の整備の推進
候補地の選定、新たな担い手の確保、迅速な施設園芸用農地の整備

目標

地形条件や地域のニーズに応じたほ場整備の実施
（国庫補助事業の活用）

国営事業の推進

高知南国地区
国営緊急農地再整備事業の実施

10年間で526haの整備
（事業費：210億円）

【整備目標】R2～R5（4年間）239ha
R2～R11（10年間）761ha

提言

農業競争力を強化するための基盤整備予算の確保

担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換等により農業の体質を強化し、地域で暮らし稼げる農業を展開するための**基盤整備予算の確保**

2. 農村を守る（安心して暮らせる農村環境の実現）

【ため池整備の推進】

本県での取組状況

農村地域防災減災事業等による対策の実施状況

【ソフト対策】

ため池マップ
緊急連絡網
浸水想定区域図
ハザードマップ
R2年度末までに完了
R元～見直し・作成中



【ハード対策】

【地震対策】
耐震補強の実施（計画：21池）
南海トラフ地震対策行動計画
・R3年度末までに
21池完了予定

【豪雨対策】
洪水吐改修等の実施（計画：21池）
・R3年度末までに
15池完了予定（残：6池）



今後の取組

【高知県防災工事等推進計画】に基づき防災重点ため池の対策を推進
「劣化状況評価」＋「地震・豪雨耐性評価」を実施

地震・豪雨対策の実施
R2年度末時点で新たに対策が必要であると判明したため池
【地震対策】23池
【豪雨対策】90池
計 104池（重複9池）

ため池下流の状況により人家等への影響が大きいものから対策を実施

提言

農村地域の防災・減災対策を着実に推進するための予算の確保

南海トラフ地震対策や豪雨対策としてのため池改修など、農村地域の防災・減災対策を着実に推進するための「**農村地域防災減災事業の予算確保**」